



札幌帝國大學

八田三郎様

付人





丸慢と

二月廿一日

八田の文に様

啓

昨朝尋書進有る人

はとのし書るる毛沙汰

しとの文の文に於ては各

の健康のゆゑなる様

て有る方もお察願

一月は健康なものと

のゆゑに書るるに念

の清支罷在る何事

の放慮を

きかは便郵

CARTE POSTALE

トシ中の定、羅漢

昨の帰及、其健名との

道中にたふりまぬれたのと

久し振りの早、其度とこの

足腰擦もせ、早のころに

は又早いよ、飛びまわりの

は又早いよ、飛びまわりの

早の足腰擦もせ、早のころに

は又早いよ、飛びまわりの

報に接し、物んを折、たに

不煩の折、ぬり、愛、折、たに

一頁